

静岡大学「グローバル共創科学部（仮称）」
の設置認可申請について

名 称	学部名：グローバル共創科学部 (Faculty of Global Interdisciplinary Science and Innovation) 学科名：グローバル共創科学科 (Department of Global Interdisciplinary Science and Innovation)
入学定員	115 名
学位名称	学士（学術） (Faculty of Global Interdisciplinary Science and Innovation)
専任教員	27 名
詳 細	別添 1 参照

設置申請以降の流れ

令和 4 年 3 月 1 8 日	文部科学省へ設置計画書の提出
4 月 2 6 日	グローバル共創科学部の設置申請と地域創造学環の学生募集 停止等に関する学長メッセージの公表（別添 2 参照）
5 月下旬	意見伝達
6 月下旬	補正申請書の提出
8 月下旬	設置の可否に関する結果通知予定

未来の課題群への挑戦

現代に生きる人々が、創造的かつ友好的に暮らすために

新たな価値を創生し、持続的な循環型社会を実現するために

人間がどうあるべきかを問い続け、真の豊かさを主体的に実現するために



【育てる人材】

グローバル共創科学部では、地球規模の課題から地域社会の課題に至るまで、社会的課題が多様化・複雑化する現代社会の状況を踏まえ、人文・社会科学から自然科学に至る多様な知を結びつけ複眼的アプローチから諸課題に取り組み、未来社会を構想・デザインできる共創型の人材を育成する。また、人々や世界の多様性を理解し尊重した上で、多様な背景をもつ人々と協働して社会的課題の解決に取り組むことのできる人材を育成する。

【未来の課題と3つの領域およびリテラシーの必要性】

これからの人類社会において直面する課題群の1つを「現代に生きる人々が、創造的かつ友好的に暮らすための課題」と捉える。従来の専門知にとらわれず、グローバル・ローカルの双方で経済的・制度的・文化的な調和をすすめて、課題を解決する必要がある。もう1つは「新たな価値を創生し、持続的な循環型社会を実現するための課題」と捉える。地球の物質循環の限界を知り、サステナビリティのための科学技術を結集して地球規模の課題解決に取り組む。これらの極めて複雑な課題を解決するために、「人間はどうあるべきかを問い続け、真の豊かさを主体的に実現するための課題」に取り組まなければならない。本学部では、国際地域創造学、生命圏循環共生学、総合人間科学の3つの領域を複合的・横断的に学修する。3年次以降はコースを選択し、実際の課題解決を通して国際感覚や俯瞰力を高め、この多様で複雑な未来の課題群を解決する力を養う。

人を繋ぐためには、語学力、数理データサイエンスのスキル、対話力、創造力等のリテラシーが有効であり、本学部では、これらのリテラシー獲得のための教育にも重点が置かれている。

グローバル共創科学部の目指す教育

グローバル共創科学部が求められる背景

現代のグローバル課題である気候変動問題や、ローカルな最重要課題である地方創生・地域活性化をはじめ、環境、エネルギー、人口、ウェルネス、生命、経済、防災など、**あらゆる領域で問題が複雑化**しており、単に専門家が集まるだけでは解決は困難。

異分野の人材が深く連携し、総合知を活用して解決すべき重要課題

現代に生きる人々が、
創造的かつ友好的に
暮らすための課題

新たな価値を創造し、
持続可能な循環型社会を
実現するための課題

人間がどうあるべきか問い
続け、真の豊かさを主体的
に実現するための課題

総合知を活用できる共創型
人材に求められる知識・能力

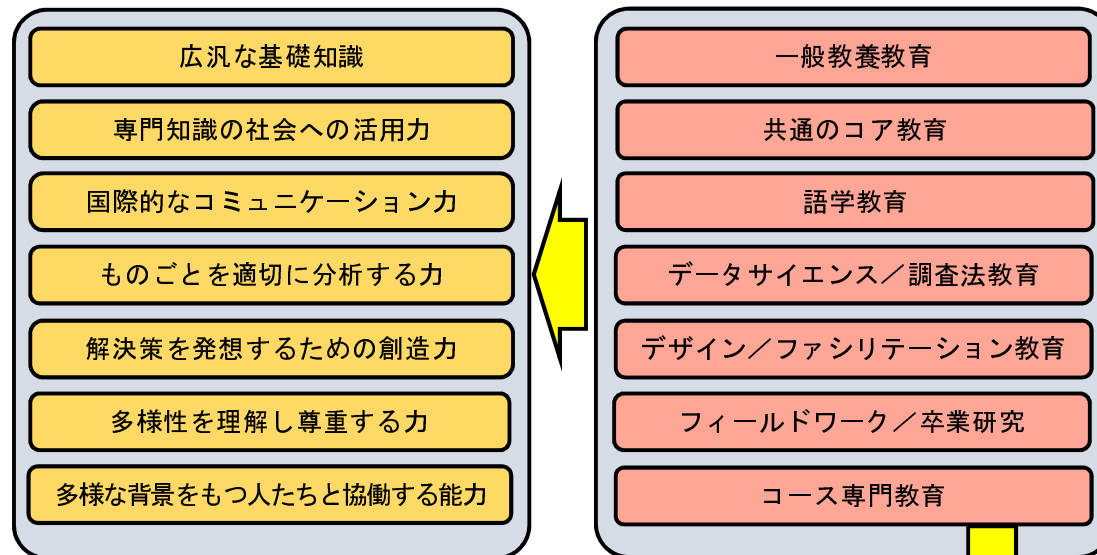
- 人文・社会科学から自然科学に至る広汎な基礎的知識
- 専門的知識の社会への活用力
- 国際的なコミュニケーション力
- ものごとを適切に分析する力
- 社会的課題の解決策を発想するための創造力
- 多様性を理解し、尊重する力
- 多様な背景をもつ人たちの協働する能力

グローバル共創科学部の概要

○ 目的・養成する人材像

本学部は、地球規模の課題から地域社会の課題に至るまで、社会的課題が多様化・複雑化する現代社会の状況を踏まえ、多様な人々と協働し、人文・社会科学から自然科学に至る幅広い知をつなげることを通じて、複眼的な視点から社会的課題を的確に捉え「総合知」を創造し、未来社会を活力と魅力溢れるものとしてデザイン・構想できる共創型人材を育成することを目的とする。

○ 求められる知識・能力を育むための教育



○ 構成（1学科3コース）

人間科学による自己の理解をもとに、社会を形成する他者の理解をもって、国際地域創造を可能とし、その上で、生命圏の循環共生における自分の果たすべき役割を発見する。そのために、以下の3コースを設置する。

国際地域創造学コース

未来の社会をデザインする上で、静岡県や日本を起点にしつつ、地球全体の利益の観点から、地域と世界を架橋し、社会における包摂と積極的な調和をはかっていくことのできる人材を育成する。

生命圏循環共生学コース

グローバルな動向を視野に入れつつ、旧来の産業社会が弱かった、エネルギーや食料、材料、社会インフラなどの再生可能かつ循環型の技術を開発し、ローカルとグローバル双方で社会実装できる人材を育成する。

総合人間科学コース

すべての人が心身ともに健康で安全・安心に過ごせるように、人間の心と身体を理解を通して、QOLの向上、人間相互の繋がり（絆）、環境との共生、を積極的にプロデュースし、マネジメントできる人材を育成する。

[HOME](#) > [新着情報・お知らせ](#) >

静岡大学グローバル共創科学部（仮称）の設置申請と地域創造学環の学生募集停止等について（お知らせ）

静岡大学グローバル共創科学部（仮称）の設置申請と地域創造学環の学生募集停止等について（お知らせ）



2022/04/26

ニュース

1 グローバル共創科学部（仮称）の設置申請について

静岡大学は、令和4年3月に「グローバル共創科学部（仮称）」（学生定員115名）を設置する申請を文部科学省に提出しました。グローバル共創科学部（仮称）は、社会的課題が多様化・複雑化する現代社会において、多様な人々と協働し、人文・社会科学から自然科学に至る広汎な知を繋ぐことで、複眼的な視点から社会的課題を捉えるとともに、「総合知」を創造・活用しながら、未来社会を構想・デザインできる「共創型人材」を育成することを目的としています。この新学部では、本学が有する6学部の教育成果を融合するとともに、地域創造学環を発展的に取り込みながら、新たな教育を目指します。

グローバルな課題とローカルな課題が連動している現代においては、食糧問題、エネルギー利用の制約、地球温暖化等の課題に取り組む必要がある一方で、地方創生や地域課題の解決にも取り組む必要があります。具体的には、基幹産業である自動車産業のEV化や自動運転化等に伴う社会変化への対応、農業における人材不足の解消や農作物のブランド化を目的としたスマート農業の導入、高齢化を踏まえた健康長寿・ウェルネス・ヘルスケアの推進、SDGsや多文化共生の推進などです。本学部が輩出する「共創型人材」が、これらの解決に寄与することを目指します。

グローバル共創科学部（仮称）には、次の3コースを設置する予定です。

《国際地域創造学コース》

未来の社会をデザインする上で、静岡県や日本を起点にしつつ、地球全体の利益の観点から、地域と世界を架橋し、社会における包摂と積極的な調和を図っていくことのできる人材を育成します。

《生命圏循環共生学コース》

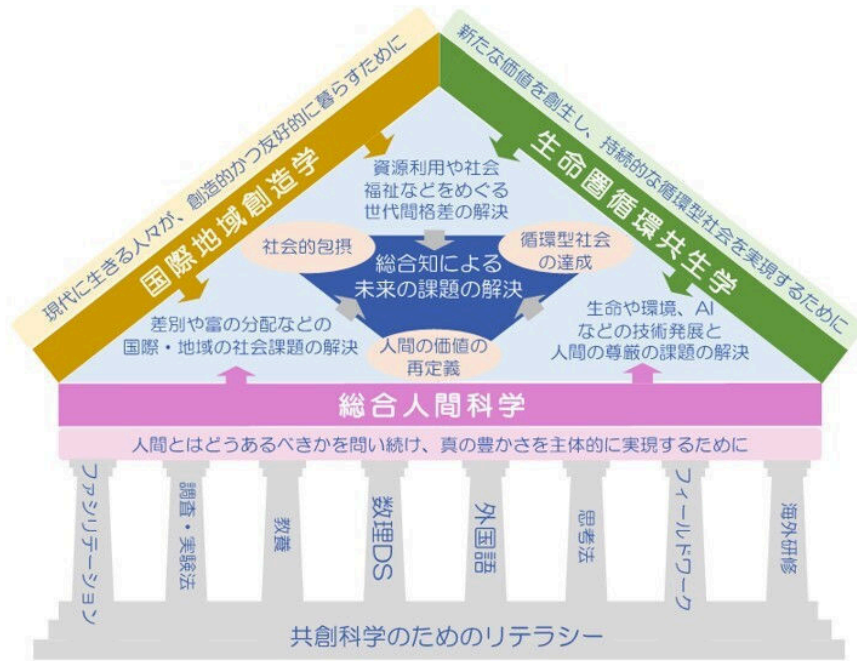
グローバルな動向を視野に入れつつ、旧来の産業社会では開発が困難であった、エネルギーや食料、材料、社会インフラなどの再生可能かつ循環型の技術を開発し、ローカルとグローバル双方で社会実装できる人材を育成します。

《総合人間科学コース》

全ての人々が心身共に健康で安全・安心に過ごせるように、人間の心と身体の繋がり（絆）、環境との共生を積極的にプロデュースし、マネジメントできる人材を育成します。

今後は、令和5年4月の開設に向けて、引き続き準備を進めてまいります。また、「グローバル共創科学部（仮称）」に係る情報は随時本学HP等においてお知らせします。

■グローバル共創科学部（仮称）イメージ



■学生募集人員（予定）

	R 4 年度	R 5 年度
人文社会科学部		
社会学科	6 0	6 0
言語文化学科	7 0	6 9
法学科	8 5	8 4
法学科（夜間主）	3 0	3 0
経済学科	1 4 5	1 4 2
経済学科（夜間主）	3 0	3 0
教育学部		
学校教育教員養成課程	3 0 0	2 6 0
情報学部		
情報科学科	1 0 0	9 8
情報社会学科	7 0	6 8
行動情報学科	7 0	6 9
理学部		
数学科	3 8	3 8
物理学科	4 7	4 8
化学科	5 1	4 8
生物科学科	5 1	4 8
地球科学科	4 8	4 8
工学部		
機械工学科	1 6 5	1 6 0
電気電子工学科	1 1 0	1 1 0
電子物質科学科	1 1 0	1 1 0
化学バイオ工学科	1 1 0	1 1 0
数理システム工学科	5 0	5 0
農学部		
生物資源科学科	1 1 0	1 0 5
応用生命科学科	7 0	7 0
地域創造学環	5 0	-
グローバル共創科学部		
グローバル共創科学科	-	1 1 5
合計	1 9 7 0	1 9 7 0

■グローバル共創科学部入学者選抜（予定）

入学者選抜の方式
共通テストを課さない 総合型選抜
共通テストを課さない 学校推薦型選抜（※）
共通テストを課す 学校推薦型選抜（※）
一般選抜 前期課程（※）
一般選抜 後期課程

注：※はスポーツ系入試枠があることを示す

注：※ 理学部の募集人員には創造理学（グローバル人材育成）コースを含む

注：グローバル共創科学部（仮称）の内容は設置申請中のものであり変更となる可能性があります

2 地域創造学環の学生募集停止等について

グローバル共創科学部（仮称）の設置に伴い、地域創造学環は令和5年4月入学予定者の学生募集は行いません。また、既設6学部の入試では募集人員の変更を行う予定ですので、その情報は随時本学HP等でお知らせします。

地域創造学環への入学を目指していた方をはじめとする受験生の皆様には、地域創造学環の教育成果を組み入れたグローバル共創科学部（仮称）を進路選択の一つとして考えていただければ大変うれしく思います。なお、在学生の方への教育は就職支援を含め、これまでどおり実施します。

静岡大学はこれからも、国際感覚と高い専門性を有し、チャレンジ精神にあふれ、豊かな人間性を有する教養人の育成に取り組んでまいります。

国立大学法人静岡大学長 日詰一幸